

第6回円空大賞円空賞

田中泯（たなかみん）

プロフィール

1945年3月10日、東京大空襲の日に東京都に生まれる
1960年代クラシック・バレエを学び、その後モダンダンスを学ぶ
1966年からソロダンス活動開始
1970年代「ハイパーダンス」と称して、新たな独自の踊りのスタイルを発展させ、意欲的に展開
1978年海外での最初のデビューとして、『パリ秋季芸術祭「日本の間」展』に招待参加
（磯崎新・武満徹プロデュース、ルーブル装飾美術館）



以降、今日に至るまでダンス界だけに留まらずあらゆる分野で活躍。
日本国内、世界各地では独舞、またグループ作品の公演も多数行う。
田中泯は、有名性に頼らず、より根源的な自身の踊りの追求として「場踊り」を現在も継続している。
土方巽に私淑。インドネシアの島々にて45日間おこなった場踊りより撮影：原田大三郎

選評

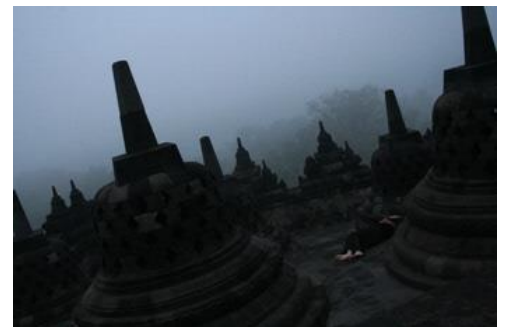
田中泯氏の活躍は凄まじい。モダンバレエはたしかに海外からもたらされた芸術であるが、彼はそれをみごとに土着の芸術に変化させたのである。まさに日本の土地が田中泯という人間になって踊っているかのようである。あるいは都会の近代的な建物群の真ん中で、あるいは南方熊楠と縁のある紀州の海で、彼は狂ったように自由にはばたいて踊るのである。



北海道河東郡音更町の廃屋にて場踊り
撮影：KK



淡路島、ため池にて場踊り
撮影：山田脩二



インドネシア・ボロブドゥール遺跡にて
撮影：ShihoIshihara



淡路島洲本市五色町の廃屋にて
撮影：山田脩二



鹿児島県串木野にて場踊り
撮影：ShihoIshihara